

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

### 【事例概要について】

• •

1. 負傷事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット事例
2. 体験した事例の名称	高所での放水訓練時における機関員の予備送水ミス事例
3. 体験した事例の中心的要素	高さ 5 m ほどのフロアで自己確保をとろうとしていた所に、足元寸前まで送水されていた。
4. 体験した事例の原因・理由	高所での放水であるため、落差があり予備送水に時間を要すと思い、送水圧力を上げてしまい、機関員が目視出来ないフラットになったフロア一部分で急激な予備送水を招いた。また、予備送水を行っていることを周知していなかった。

### 【体験した事例の直接的原因について】

• •

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

### 【体験した事例について】

• •

1. 発生日時	平成 18 年 5 月 22 日 午前 11 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：5 m 程の高さのある訓練塔
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 負傷事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか (起きそうになったのか)	墜落・転落、転倒、
7. 事例体験時の活動	演習訓練、 [火災、 ]
8. (7 の活動中) どのような作業中に発生したか	ポンプ隊訓練、
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	これまでに 1, 2 回程度体験している。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[35]歳、勤続年数[17]年、現場経験年数[17]年、階級[消防士長]、同様の活動[1年に数度]、任務[機関員]
○当事者B	年齢[42]歳、勤続年数[24]年、現場経験年数[24]年、階級[消防士長]、同様の活動[1年に数度]、任務[隊員]
○当事者C	年齢[47]歳、勤続年数[29]年、現場経験年数[29]年、階級[消防司令補]、同様の活動[1年に数度]、任務[車長]
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	ポンプ車の機関員として操作を開始した。	
経過2	当事者B・C	協力して電動ホースカーでホースを延長した。	
経過3	当事者B	電動ホースカーからホースを取り出し、ホースを背負って高さ5mほどの足場に三連はしごで進入した。	
経過4	当事者C	当事者Bがはしごを登る際、はしごを確保した。	
経過5	当事者A	電動ホースカー付近まで予備送水を行った。	
経過6	当事者B	高さ5mほどのフロアに到着し、手すり枠に自己確保をとろうとした。	
経過7	当事者A	予備送水を5mの高さのフロアまで送った。	
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

○負傷事故の場合 : 負傷事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険事象の対応方法を知っていた。避難・退避がうまくいった。足元の安全が確保できていた。たまたま、負傷事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・ 活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・ 活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・ 活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・ 体調が悪かった。	いいえ
・ 悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・ 装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・ 装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・ 装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・ 必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・ 障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかつた。	いいえ
・ 特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかつた。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・ 狹隘な場所であった。	いいえ
・ 暑かった（寒かった）。	いいえ
・ 野次馬が多かった。	いいえ
・ 現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・ 足元が躊躇したり滑りやすかった。	いいえ
・ 足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかつた（適切な指示を与えられなかつた）。

・ 活動指示が得られなかつた。（無線が通じない等。）	いいえ
・ 指示内容に誤り・偏りがあつた。	いいえ
・ 指示内容が実施困難であつた。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・ 隊員の連携が不十分だった。	はい
・ 隊員が不足していた。	はい

○その他

l. その他の理由があつた。

はい：見切り発車があつた。
---------------

